CronoSTAR[™] Portable Real-Time PCR Systemシリーズ

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)検査のための操作マニュアル

-SARS-CoV-2 (N501Y/E484K) Direct Detection RT-qPCR Kit (製品コードRC340A) 専用-

このマニュアルでは、SARS-CoV-2 (N501Y/E484K) Direct Detection RT-qPCR Kit (製品コード RC340A)を用いてリアルタイム PCR を実施する際の操作方法を説明します。実験操作に関しては、本キットの取扱説明書に従ってください。

また、本装置は研究用機器であり、医薬品医療機器等法に定められる医療機器ではありません。

CronoSTAR[™] Portable リアルタイムPCR装置の起動とラン

- 1. リアルタイム PCR 装置本体の電源を ON にする。
- 2. コンピューターを起動してソフトウェアを立ち上げる。
- 3. Sample Setup をクリックしサンプル情報を入力する。
 - **3.1. Experiment Name** に試験名を入力する(ラン終了後に行っても良い)。
 - 3.2. Channel 1 の FAM と Channel 2 の HEX と Channel 4 の Cy5 にチェック√を入れる。

 ✓ Channel 1
 FAM
 ✓
 ✓
 HEX
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓
 ✓

3.3 ウェルをクリックしてサンプル名、タイプを入力する(ラン終了後に行っても良い)。 Negative Control: 陰性コントロール

Positive Control:陽性コントロール

Unknown:検査対象サンプル

Name:	
Type:	Unknown 🔻
Quantity:	Negative control Positive control Standard
Units:	Copies -

- 4. Cycler Setup を選択してサーマル条件を入力する。
 - 4.1. Pre-Denat1 は、52℃、300 秒に設定する。
 - 4.2. Pre-Denat2 は、95℃、10 秒に設定する。
 - 4.3. Cycle Period Step1 は、95℃、5 秒に設定する。
 - 4.4. Cycle Period Step2 は、58°C、30 秒に設定する。
 - 4.5. Cycle Period の Num Cycles は、45 に設定する。

4.6. Cycle Period の Image step は チェック√を入れ Step2 に設定する。
4.7. Hold は、 50°C、10 秒に設定する。



5. 装置にサンプルをセットする。



6. Start ボタンを押しランを開始する。

結果の解析

1. Analysis 画面で増幅曲線を確認する。

①Analysis画面を表示	
Clontech Setup Run Analysis Report HID Device Not Found .	- □ ×
Amplification Melting Curve Standard Curve	
Curve Fit Start : 1 CLear limit : 13 C1 Tweekeld(th) : (8.0	Refresh 📝 Normalize
Fluorescence (RFU) vs Cycles	1 2 3 4 5 6 7 8
②増幅曲線を確認	A B Cannel Cannel Cannel 3 4 5 6 7 8 Cannel 3 Ct/file & reference 7 8
.00 0 2	Chan 1 Chan 2 Chan 3 Chan 4

2. Analysis 画面の結果のテーブルで Channel1(FAM) 、Channel2(HEX) 、Channel4(Cy5)の Ct 値を確認する。

Chan	nel 1	Cha	nnel 2	Cha	annel 3	Channel 4		
Α	1	2	3	4	5	6	7	8
Chan 1								
Chan 2								
Chan 3								
Chan 4								

3. Run 画面に表示される検査対象サンプルの増幅曲線と2の結果テーブルに表示される Ct 値に食い違いないことを確認する。

	(1Rι	un画	面を	表表	7												
Clon tech	Setup	Run	Ana	lysis R	ieport			н	D Device Not F	ound 😐						Ð	- 0	×
Run Control																		
	Curren	t Cycle: 0	Total 0 Cycl	es Time I	Remain i	Current State											Rofresh	
			Lid Temperat	ture (°C) vs Tin	ve (sec)					Fluorescer	ice (RFU, or -i	dRFU/dTemp1	for Melt)					
120 100 60 40 0 0	10	20	30	40	50	60	70	80						-1L- 0 d	. + 7	₩ =31		
		Rea	tion Well Terr	sperature ("C)	rs Time (see)						(2):	喧幅	田約	20	隹認		
	10	20	30	40	50	60	70	80						1				
						Force Stop				AB	1	2	3	4	5	6	7	8
												Channel 1	Channel	2 Chi	innel 3	Channel 4		
																Des	igned for Ta	kara Bio. Inc

結果の判定方法(詳細はキットの説明書を参照)

【コントロール反応の判定】

結果が以下の条件を満たすことを確認する。条件を満たさない場合は再測定を推奨する。

	FAM	Cy5	HEX
	(N501Y)	(E484K)	(N遺伝子)
Negative Control	不検出 <mark>※1</mark>	不検出 <mark>※1</mark>	不検出 <mark>※1</mark>
N1/N2 Template	不検出 <mark>※1</mark>	不検出 <mark>※1</mark>	Ct≦30
N501Y Template	Ct≦30	不検出 <mark>※1</mark>	不検出 <mark>※1</mark>
E484K Template	不検出 <mark>※1</mark>	Ct≦30	不検出 <mark>※1</mark>

・Negative Control は、不検出であることを確認する。

Ct 値が算出された場合は、コンタミネーションの疑いがある。反応液の調製場所や器具類を 除染したうえで再反応を行う。

 N1/N2 Template では HEX で、N501Y Template では FAM で、E484K Template では Cy5 で検出され、他の波長では検出されないことを確認する。
 正しい波長で検出されない場合、何らかの原因でリアルタイム RT-PCR が正常に行われていない。再反応を行う。

下図は N1/N2 Template を鋳型として使用した場合の例

N501Y Template、E484K Template についても同様の方法で確認する。



(Analysis 画面の増幅曲線)

【サンプルの測定結果の判定】

FAM	Cy5	HEX	判定結果			
(N501Y)	(E484K)	(N遺伝子)	N501Y	E484K		
_	_	+	なし	なし		
+	_	+/-	あり	なし		
_	+	+/-	なし	あり		
+	+	+/-	あり	あり		
_	_	_	判定不能			

・ 「+」はCt≦40、「−」はCt>40または不検出<mark>※1</mark>であることを示す。

・すべての検出系がCt>40または不検出であった場合は判定不能となり、SARS-CoV-2の コピー数が検出限界以下である可能性がある。

※1 あらかじめ設定された偽陽性検出感度の閾値(デフォルトの閾値設定)を使用の場合、<結果の解析、2>で得られる解析結果の表記が、「Neg」あるいは「[Neg]」の何れの場合であっても「不検出」として判定してください。

測定結果例(Analysis画面の増幅曲線)

<u>N501Yの変異あり/E484Kの変異なし</u>



5

<u>N501Yの変異あり/E484Kの変異あり</u>

結果の保存と解析結果の出力

1. Report画面をクリックする。

2. Print Reportをクリックし、結果を保存場所とファイル名を指定してCSV形式で保存する。

Print Report (.CSV)

3. Save Experimentをクリックし、保存場所とファイル名を指定して保存する。Save as templateにチェック**√**をいれるとテンプレートとして保存する。

Save Experiment

Save as template

ソフトウェアと装置の終了

- 1. ソフトウェアを終了する。
- 2. コンピューターを終了させて、電源を切る。
- 3. 本体の電源を切る。

【補足】

前処理(核酸の簡易抽出)をリアルタイムPCR装置で実施する場合

- 1. リアルタイムPCR装置本体の電源をONにする。
- 2. コンピューターを起動してソフトウェアを立ち上げる。
- 3. Sample Setupをクリックする。
- 4. Cycler Setupを選択してサーマル条件を入力する。
 - 4.1. Pre-Denat1は、95℃、280秒に設定する。
 - 4.3. Cycle Period Step1は、95℃、10秒に設定する。
 - 4.4. Cycle Period Step2は、95℃、10秒に設定する。
 - 4.5. Cycle Period のNum Cyclesは、1に設定する。
 - 4.6. Cycle Period のImage stepは チェック√を外す。
 - 4.7. Holdは、50°C、10秒に設定する。



- 5. 装置にサンプルをセットする
- 6. Start ボタンを押しランを開始する。
- 7. 測定終了したあとチューブを取り出し氷上で保存する。

7